

関西学院大学人間福祉学部社会起業学科
開設記念連続公開講座「世界を変える社会起業家」

関西学院大学人間福祉学部社会起業学科では学科の開設を記念して、世界各地で活躍する社会起業家たちを招き、連続公開講座を開催します。一般視聴可（事前申し込み不要、参加費無料）で、会場はすべてG号館202号教室の予定です。なお、4月24日と5月8日に関しては、通訳がつきます。

第1回 4月24日（木）16時50分～18時20分（5時限目）

◇講 師 レオ・ボラス（Leo Borrás）氏（フィリピン、アテネオ・デ・ナガ大学、コミュニティ・アウトリーチ・プログラム、プログラム・コーディネーター）

◇テーマ 「大学の社会貢献：フィリピン・ビコール地方における家建築、パートナーシップ、まちづくり」

◇概 要 ボラス氏がこれまでアテネオ・デ・ナガ大学で運営してきた、企業から寄付を募り、大学生ボランティアを活用しながら貧困層の人たちに住居を建築するBahay Atenistaプロジェクトを中心に、大学が核となるコミュニティ・ワークについて話をさせていただきます。また、こうしたプロジェクトに関西学院大学の学生団体である上ヶ原ハビタットの学生たちが参加できる機会をつくるなど、課外教育を通じての大学教育の国際化についても紹介させていただきます。

第2回 5月8日（木）16時50分～18時20分（5時限目）

◇講 師 マリー・ソー（Marie So）氏（Ventures in Development 創設者）

◇テーマ 「ヤクを使った開発：今、中国で注目をあつめる社会起業」

◇概 要 ソー氏は、2007年7月18日のニューズウィークで特集された「世界を変える社会起業家100」の一人に選ばれた、現在世界的に注目をあびる社会起業家のお一人です。中国北西部に住むチベット族の村で、ヤクというウシ科の動物をリソースとして、その乳製品の開発や、柔毛を使ったカシミアのような製品（ヤクダウンと呼んでいます）の開発など、産業を興すことによって、その村の貧困問題に取り組む、彼女が創設した Ventures in Development (<http://www.venturesindev.org/>) という社会的企業の活動をお話いただきます。

第3回 5月29日（木）16時50分～18時20分（5時限目）

◇講 師 溝畑宏氏（株式会社大分フットボールクラブ（大分トリニータ）代表取締役）

第4回 6月19日（木）16時50分～18時20分（5時限目）

◇講 師 能島裕介氏（社会起業家、CSR事業、社会貢献事業創造を支援する edge 事務局長）